

市長定例記者会見（令和4年6月9日）録

11時30分～12時07分

まず、題材に入ります前に、新型コロナウイルス感染症の感染状況等につきまして、一言申しあげたいと存じます。

本市の新規感染者数は、ゴールデンウィーク終盤から増加、高止まりの状況が続き、感染の再拡大も懸念されておりましたが、5月13日以降、ほぼ前週の同じ曜日に比べて減少している状況が続いており、3週連続で新規感染者数は、前の週を下回っております。

また、5月28日以降は、感染者数が100人を切る状況となっております。感染の波は、ひとまず落ち着きを見せてきたところではないかと考えております。

しかしながら、年代別の直近1週間の累積新規感染者数の推移を見てみますと、6月以降、10歳代の感染者数が、再び、増加傾向に転じており、これらは、「同じ部活動の学生によるクラスター」が増加していることが主な要因であると考えております。

さらに、6月2日（木）時点で、3回目接種を終えた方は、24万人強、接種率は、56.7%で、そのうち、20歳代は、41%、12歳以上の10歳代は、26.5%に留まっている状況でございます。

こうした、ワクチン接種率の低さも、感染の広がりの要因の一つかと考えておりますので、特に、若い世代の皆様には、感染を広げないためにも、また、若者らしく活動的に過ごすためにも、接種の重要性を御理解いただき、積極的に接種を御検討いただけるよう、お願いいたします。

なお、先月25日から4回目接種を開始しておりますが、2日（木）時点で、60歳以上の63の方が接種を終えられた状況でございます。

4回目接種は、高い重症化予防効果が期待されておりますので、高齢者など、重症化リスクの高い方は、早めの接種を御検討ください。

一方、これまで、基本的な感染防止対策として、マスクの着用は極めて重要であり、会話などをする際には、マスクを着用していただくよう市民の皆さまにお願いをしてまいりました。

ただ、本格的な夏に向かい、気温・湿度ともに高くなる季節となるため、マスクを着用することで熱中症のリスクが高まります。

このため、国は、去る5月20日に、マスクの着用が基本的な感染防止策とした上で、屋外や屋内で、会話がほとんど行わなければ、マスクの着用は不要であるとの考え方を示されております。

これらの時期、市内では、さまざまイベントの開催が予定されていることと思いますが、市民の皆様方には、イベント等に参加される場合は、国が示した考え方に従い、場面に応じてマスクの着用を緩和していただき、熱中症の予防にも心掛けていただきたいと思います。

それでは、題材に入らせていただきます。本日は3点ございます。

#### 桜御門の一般公開の開始について

まず、1点目は、「桜御門の一般公開の開始について」でございます。

桜御門の復元は、平成23年度に発掘調査を開始し、令和元年度から史跡高松城跡での最初の歴史的建造物の復元整備事業として工事を実施しておりました。

一般公開まで足掛け12年という長期にわたる事業となりましたが、昨日8日（水）に、工事が竣工いたしましたので、7月16日（土）午前10時30分から一般公開を開始いたします。

桜御門は、月見櫓（つきみやぐら）や良櫓（うしとらやぐら）等とともに明治時代の破却を免れ、昭和19年に国宝に指定されることが内定しておりましたが、翌年の昭和20年7月の高松空襲によって被災し、残念ながら焼失いたしました。

桜御門には、詳細な設計図や調査図面、模型等はございませんでしたが、多数の古い写真や、現地に残る痕跡、発掘調査、焼失前の門の内部に出入りした経験のある方からの聞き取り調査を実施いたしまして、復元の根拠資料を集めますとともに、史跡高松城跡整備会議の助言を受けつつ、文化庁と協議を進め、復元整備工事に着手したところでございます。

復元には、瓦や金物、漆喰等も調査研究に基づいて新調し、伝統技術による施工を行いましたほか、石垣につきましても、空襲で被災した際の劣化がございましたが、石材の補強により対応することで新しい石の使用を極力少なくし、被災

の痕跡も残しながら石垣の保全に努めてまいりました。

また、桜御門内部には、こうした復元工事の様子を収めた写真パネルや、「しやちほこ」の型などを並べた展示スペースも設けております。

なお、16日（土）の当日は、一般公開にさきがけ、竣工を記念し、午前9時から開門式を執り行いたいと存じます。

ぜひ、市民の皆様を始め、多くの方に桜御門をご覧いただき、高松城の歴史と風情を感じていただくとともに、史跡高松城跡を未来に、しっかりと継承してまいりたいと存じます。

#### 高松市美術館所蔵漆芸作品の海外展覧会への出品について

2点目は、この度、本市美術館が所蔵する讃岐漆芸を、オランダのアムステルダム国立美術館で開催される展覧会「近代日本の漆芸」に出品することになったものでございます。

同展覧会では、日本とヨーロッパの美術館や個人が所蔵しております、日本の漆芸作品81点が紹介されますが、そのうち、日本の美術館としては、唯一、本市美術館から6点を出品するものでございまして、讃岐漆芸が、本格的に海外の美術館で紹介されるのは、今回が初めてでございます。

資料にもございますが、本市美術館が出品いたします漆芸の主なものとしたしましては、まず、「彫りの名手」と称えられた石井馨堂（いしい けいどう）の『狭貫彫 堆黒 香卓（さぬきぼり ついこく こうじょく）』は、香炉（こうろ）を乗せる机で、朱漆（しゅうるし）の上に黒漆（くろうるし）が100回以上塗り重ねられ、その表面に、草花（くさばな）や虫の姿が写実的かつ緻密に彫られている作品でございます。

また、昭和30年に日本初の人間国宝の一人に指定された音丸耕堂（おとまる こうどう）の『彫漆 八仙花 香合（ちょうしつ あじさい こうごう）』は、小さな球体の中に、アジサイの花が鮮やかなグラデーションを伴って色彩豊かに彫り込まれた作品でございます。

今回、出品いたします作品どれも、細かな彫が施された、色彩豊かで重厚感のある素晴らしい作品ばかりでございますので、この機会に、海外の多くの方に、讃岐漆芸の魅力と素晴らしさを伝えられればと存じます。

## L i v e 1 1 9 映像通報システムの導入について

3点目は「L i v e 1 1 9 映像通報システム」を四国で初めて導入するものがございます。

このシステムは、119番通報をした人に、救急隊員等の到着前に現場の状況をスマートフォンで撮影し、消防局へ送信してもらうことで、言葉では説明しにくい内容を、映像により明確に伝えることが可能となるものがございます。

システムの操作といたしましては、119番通報を受けた指令管制員が、通報者の同意を得て、通報者のスマートフォンにシステムの接続先となるURLをショートメッセージで送信し、通報者が、そのURLへアクセスすると、システムが起動し、現場の映像を共有できるものがございます。

運用開始は、7月1日から9月30日までの3か月間を試験運用期間とし、この期間中に、活用を広めるための市民の皆様への周知はもとより、効果や課題などの検証、指令管制員の訓練など、システム運用の体制を構築し、10月1日から本格運用とするものがございます。

本市消防局では、年間約3万件以上の119番通報を受信し、対応しているところでございますが、このシステムを導入することにより、「通報の見える化」が実現され、救急隊員等の到着前に現場の状況を把握でき、映像を基に通報者に応急処置の方法を伝えることができるなど、市民の皆様の御協力により、救急の現場での早期対応が可能となることで、救命率の向上、ひいては、市民の、更なる安全・安心につながるものと、大いに期待しているところでございます。

## 【記者質問】

### 【記者】

物価高騰が続いているが、子育て世代への独自の支援金の給付や影響を受けた業界への支援を行う考えは

### 【市長】

新型コロナウイルス感染症に加え、原油高や物価高騰による影響は、子育て世帯、低所得者世帯に影響が及んでいます。農業等の生産者、飲食業、サービス業などの幅広い業界に影響が広がっており、市民生活に大きな打撃が及んでいるものと認識しているところでございます。

このため、本市としては5月末の臨時議会で本来6月補正予算を前倒しし、議決をいただき、国基準の低所得の子育て世帯への給付金の支給を決めると同時に、市独自施策として産業や観光、農業、公共交通などの分野に対する支援など、地域経済の活性化策を実行にうつそうとしています。

また、今6月定例会に、学校給食における食材費の物価高騰分を補助するための補正予算案を提出しております。物価高騰に直面する子育て世帯に給食費という形で負担を強いることなく、これまで同様にバランスの保たれた給食を提供できるような対策を現行予算で講じていくとしています。その分足りないところは、一般会計から補助する対策を取っています。

現在のところ、これらの措置により対応してまいりますが、急激な物価高騰、原油高により、市民生活や社会経済情勢は、さらに厳しい状況に置かれることが予想されます。

今後とも、国や県の動向を注視するとともに、物価高騰が市民生活に与える影響に、細心の注意を払い、必要な課題があれば積極的に対応していきたいと考えています。

【記者】

国は外国人観光客の受け入れ再開をするが、今後の外国人観光客の誘致に向けた考えは

【市長】

全国と同様に本市においても、これまでインバウンドの恩恵を受けてきました。インバウンドの恩恵を受けてきた観光地については、コロナが起こってから2年間水際対策として、新型コロナウイルス感染拡大防止のための厳しい制限がなされ、大きなダメージ、影響を受けてきました。

従いまして、この度の緩和策は本市にとっても、観光と経済の速やかな回復、活性化につながっていくものと大いに期待しています。

国においては、今後、感染状況を踏まえながら、段階的に、コロナ禍前と同様の受け入れを目指すと仄聞しておりますが、本市といたしましては、今後、この「ガイドライン」を参考に、感染対策を適切に講じることを前提に、県と連携しながら、外国人観光客が安全・安心に本市観光を楽しんでいただけるよう、受け入れ態勢を整えるなど、本格的なインバウンド需要の回復を見据えた取り組みを強化してまいりたいと存じます。

瀬戸芸では一度春会期で行いしましたが、感染対策を万全にした上で、より積極的に観光客、特にインバウンドが解禁になり増える場面になっても、より誘致の方に軸足を置きながら積極的に進めてまいりたいと思います。

【記者】

物価高騰対策として学校給食の食材費に対する補助の概要は

【市長】

給食費は実費相当額で単価を決めて取っています。年度途中において食材費が上がったということでメニューの一部を変更せざるを得ない状況でしたが、それについては5月の臨時会において、農業サイドから本市の特産物であるごじまん品であるオリーブ牛等も含め、食材を無償で学校給食に提供していく事業をやらうということで、食材として確保すると同時に、6月の補正予算では年間を見通した上で食材費高騰で本来は給食費を値上げしなければいけないところを、値上

げしないで抑えられるように一般会計から高騰分の差額について補助を行うという予算を提出しようとしています。

【記者】

熱中症リスクが高まる時期を迎えるが、小中学校でのマスク着用の取扱いは

【市長】

これから夏場に向かうにあたってマスクは感染症リスクを避けることで基本的な感染防止対策として必要である一方で熱中症のリスクが高まります。いかに適切に使用するかということが大事だと思います。

国では5月24日に文部科学省から夏にかけて熱中症リスクが高まることを踏まえ、体育の授業では運動場やプール、体育館など屋内外に関わらずマスク着用を不要と出されました。登下校時には子どもに会話を控えるよう注意をした上で、マスクを外すよう教職員が指導することなど、学校におけるマスクの着用の考え方が示されました。

本市教育委員会にも聞いてみると、教育委員会としてはこの考え方に沿って対処するように各学校を指導していると報告を受けています。

私としては、熱中症のリスクを下げるという意味で、児童生徒の安全安心を最優先に、感染症対策との両立を考えなければいけません。特に熱中症対策に万全を期してマスクの使い方の指導を各学校で徹底していただくよう求めてまいりたいと考えています。

【記者】

讃岐漆芸の作品が本格的に海外の美術館へ出品されることへの受け止めは

【市長】

讃岐漆芸というのは、江戸時代に玉かじ象谷さんが色んな特殊技法を開発しながら、非常に高度な技術を持った漆芸として芸術性の高いものとして残っています。実際、讃岐漆芸に関わる人間国宝も6人誕生しており、まさに香川、高松の誇る1つの芸術文化の特産品と思っています。

これまでも市として、伝統的ものづくり振興条例を作って、庵治石や盆栽と共に讃岐漆芸を位置づけて、振興を図ってきました。

特に芸術性の高い漆芸ということで、これまでも色んな美術館に貸出もありましたが、今回は一挙に6点がアムステルダム美術展に出展されるということで、しかも日本の美術館からはこれだけだということで、非常にこの讃岐漆芸といったものを売り出していく大きなチャンスだと思っています。

色んなPRをしながら、市民の皆様にもそれだけ価値のあるものだということを知っていただくための周知活動もより力を入れてやっていければと思っています。

【記者】

国では物価高騰対策として低所得者向けの支援金の支給が決定したが、市独自の支援の考えは

【市長】

今回の物価高騰に伴う低所得者に対する支援ということで住民税非課税世帯に10万円の支給、子育て非課税世帯に対する5万円の給付が国から決められました。それらに上乗せしたり、対象世帯以外の子どもに支給をする自治体もいくつか見られますが、本市としてはまずは国の決めた給付金をいち早く支給するというので5月の臨時会を開いていただき、その予算を取って支給しています。上乗せ、いわゆる横出しはまだ決めていませんが、その辺は今後の状況を見た上で総合的に判断していきたいと思っています。

【記者】

先日、来年の市長選に出馬表明した方がいたが、来春の市長選への出馬の考えは

【市長】

高松市長選は来年の4月ということで、まだ10か月余りあるということで、灘波氏が立候補を表明されましたが、正直申し上げて非常に早い時期での表明だったと若干驚いています。それについては私がどうこう言うことではないと思っています。

私自身としては、まだ4期目の任期が10か月余りある中で、当面のコロナ禍での対策はもとより、それについて必要な社会経済の維持対策等々について精一杯任期いっぱい務めてまいりたいと思い、やっています。私自身の市長選挙に対する態度表明については、然るべき時期を見て、皆さま方にご報告することにな



ろうかと思います。

【記者】

高松城の天守再現を含めた今後の高松城跡の整備計画に対する意気込みは

【市長】

天守の再現ということですが、元々文化庁からは完全な資料がないと再現は難しいといていたところ、復元的整備という手法を考えられるということで、若干可能性が出てきました。そのためには、文化財の保存活用計画を作らなければならないということになっています。これについては、昨年度本市として史跡高松城跡保存活用計画を策定し、その中に天守と文化財としての価値や再現の意義、効果などを明記しています。その上で、遺跡の保存と天守の安全性の確保が両立できるのか、天守再現に当たって想定される課題について、取りまとめています。課題をいかに解消していくかといったような検討と行っています。

高松城跡の復元、今回桜御門が復元され、全体として少しずつ進めてまいりたいと思っていますし、天守も復元してまいりたいと考えています。天守の復元については、非常に高松の歴史を後世に伝えるという意味で意義もあると思っています。観光面においても活性化に資するであろうと思っています。

今回桜御門ができましたので、次は天守といった機運の醸成も努めてまいりたいと思っておりますし、引き続き取り組みについて色々な角度から検討しながらすすめてまいりたいと思っています。

【記者】

讃岐漆芸について、過去に海外への出品例はあるのか

また作品搬送スケジュールは

【美術館】

これまでの讃岐漆芸の海外での紹介ですが、我々の確認しているところでは、高松市美術館の所蔵作品である、今回も出品される磯井如真という作家の作品で乾漆花瓶という作品ですが、1937年に作られたものですが、今回のオランダの展覧会には出ませんが、当館の所蔵作品です。これが1937年にパリ万博に出品されグランプリを受賞されています。ただし、展覧会ではなく万博というの

と、讃岐漆芸というよりは日本の産業振興の一環として出品されたので讃岐漆芸としては今回が初めてではないかと我々としては考えています。

今回の輸送についてですが、完全に決まっていませんが、予定として6月21日から輸送します。23日と24日にオランダの美術館で展示作業をする予定にしております。

【記者】

Live 119映像通報システムの他都市での実施状況と導入に対する市長の期待は

【市長】

四国では初めてということですが、それ以外については後でお答えさせていただきます。

このシステムですが、通報の見える化ということで、通報した段階でその人の容体や状況を口で説明していますが、それがある程度、顔色や体の状況が分かるように映像で送信することができるということなので、口で説明する何十倍以上の的確な情報が指令に入ってくるので、よりの確な救急搬送に繋がっていきまじし、受け入れ先の病院でもより素早く治療に取り掛かれるきっかけになると思っています。さらなる市民の安全安心に繋がるという大きな効果があると期待しています。

【消防局】

導入状況ですが、令和4年6月1日現在で、全国で20の消防本部、3つの消防指令センター、共同運用しているところになりますが、3つの消防指令センターで導入しています。

関西圏では大阪市、神戸市、西宮市の消防局、岡山県では岡山市、倉敷市などが導入しています。

【記者】

映像通報システム導入にかかるコストは

【消防局】

導入の初期費用としては150万程度です。

【記者】

映像通報システム導入の狙いは119番通報への早期対応なのか

【消防局】

消防隊員が現場に着くまでに現場の状況が確認できるということで、初動体制の確立に役立つということと、救急隊員が現場に着くまでには心肺停止をしている方には心臓マッサージを電話越しで指導しますが、電話越しなので実際どの程度できているか把握できないので、映像で確認することでの確な処置が指導できるというところがあります。

【記者】

讃岐漆芸の海外展覧会への出品の経緯は

【美術館】

相手からの打診です。こちらからは特にPRしていません。

【記者】

讃岐漆芸の海外展覧会への出品の話はいつ頃からあったのか

【美術館】

コロナが広がる前からこの話がございまして、2019年の頃から。もっと早い時期に開催する予定でしたが、それが延期になった経緯があります。